

科目名		高年齢労働者社会医学論文指導	
科目責任者		財津 将嘉 (高年齢労働者産業保健研究センター 教授)	
開講時期:	2年次	単位数:	6 単位
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>論文作成を通して、高年齢労働者に係る産業保健施策の目的、諸概念、活動の現状や広がり、課題を理解し、それを実務に活かせる応用力、疫学研究に必要な能力及び科学者としてのアカデミックな能力を修得する。リーダーとして、科学的根拠と現場の顕在的・潜在的ニーズ及び対応を踏まえた高年齢労働者への必要な対策を計画し、実践する力を身につける。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 高年齢労働者に係る社会医学領域の自らの研究課題を明確にすることができる。 2) 自らの研究課題の意義を公衆衛生と産業保健対策の中に位置づけることができる。 3) 適切な統計手法を利用し、かつその結果を適切に解釈できる。 4) 得られた結果の持つ意義について、過去の知見を援用して、論理的に説明できる。 5) 論理的に、かつ、無駄のない簡潔な表現で、考察を組み立てることができる。 6) 用語・言い回しについて、適切な選択ができる。 7) 得られた結果を図表等を用いて、わかりやすく表現できる。 8) 数多くの既存論文から、正確かつ適切な引用を行うことができる。 9) 論理的、かつ無駄のない簡潔な表現で考察を組み立てることができる。 10) 標準的な論文の構成を踏まえ、研究の主旨をわかりやすい形でまとめることができる。 11) 実施した研究の強み、限界について、客観的に評価を行うことができる。 12) 得られた新たな知見をもとに、その領域の今後の課題や方向性を論じることができる。 13) 社会的影響や政策的提言について考察し、適切に議論し論じることができる。 			
● 評価方法	討論20%、発表20%、作成された論文60%で、総合的に評価を行う。		
● 参考文献	指導の過程で必要に応じ紹介する。		

● 授業内容

内容	担当教員
大学院生が選択した研究テーマに対して、統計的手法も用いて多角的に討論し、問題点を明らかにする。	財津
論文の構造・構成、記載法、さらに論文投稿・発表の倫理などを系統的かつ実践的に指導する。	財津